

施設の概要と経過

敷地面積	1,911㎡
建物	木造瓦葺建物等12棟
建築年代	明治13年以前（築100年以上）
用途地域	商業地域/第1種住居地域
文化財指定	重要伝統的建造物群保存地区内。 建造物は 保存建物 として特定。

保存地区の中央部に位置し、商都としての繁栄をしめす建物が連続するエリア。敷地内に複数の文化財建物があり、かつては麴などの製造・販売を行っていました。令和6年に市土地開発公社が購入し、歴史文化財センターが維持管理。

施設の課題

ハード

文化財の建物として修理を進めていくことが必要ですが、その後の利用を見越した、修理が求められています。

ソフト

地域より**お祭りに使う祭具などを展示**する施設としての要望があります。

活用の条件

建物の外部は文化財の建物として修理する必要があります。**建物の内部や敷地の中央については**活用の方向を定めたいうえでコンセプトに基づき**自由に整備できます**。

企業に期待すること

- ・**整備手法・維持管理・運営・活用方法など**についてご提案をいただきたい。
- ・令和8年度にトライアルで実施してみたいご提案をいただきたい。
- ・稲荷山重要伝統的建造物群保存地区の**核**として地域の賑わいを創出することを期待しています。

施設の平面図と外観



⑩土蔵 2



⑨道具蔵



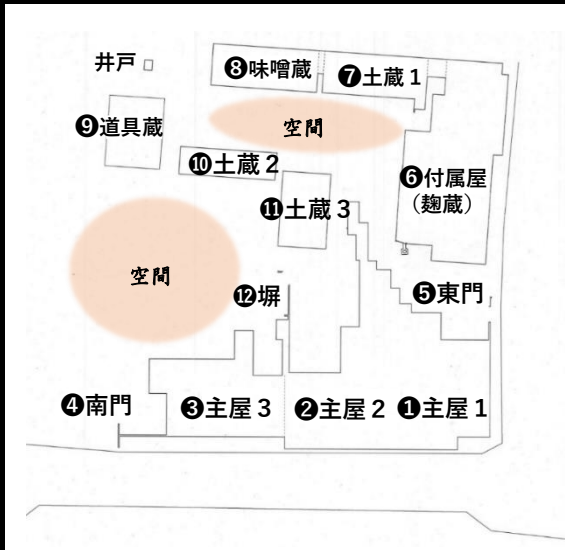
⑧味噌蔵



⑦土蔵 1



⑪土蔵 3



敷地の立地

「鍵の手」とよばれる
クランク状の道路の角地に
面しています。

建物の配置

南側に 3 棟の主屋があり、
北側と中央に土蔵が並んで
います。

敷地内の空間

主屋と土蔵の間には 2 か所
の空間があります。



⑥付属屋



④南 門



⑤東 門



③主屋 3



②主屋 2



①主屋 1

今後のスケジュール

- | | |
|---------|----------------------------|
| 令和7年9月中 | サウンディング調査公募。 |
| 令和8年 | サウンディング調査案をもとに、整備計画案の作成予定。 |
| 令和8年以降 | 千曲市土地開発公社より買い戻し予定。 |
| 令和11年以降 | 整備事業開始予定。 |

予算の規模感等も含めて、
サウンディング調査の中で相談できれば幸いです。

